



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 78》2019年8月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【佐伯市／臼杵市】



(佐伯市)
マリンスポーツ



(佐伯市)
小半鍾乳洞



(臼杵市)
臼杵祇園祭



(臼杵市)
黄飯

大分県で学ぶ留学生への奨学金認定式が開催されました

大分県は、人口あたりの留学生数が全国トップクラスであり、約90の国や地域から、3,600人を超える留学生が大分県で学んでいます。せっかく大分に学びにきてくれた留学生の皆さんに大分のことを知ってもらい、将来、大分県と母国との架け橋として活躍いただくため、大分県では外国人留学生を対象に、様々な支援事業を行っています。

その支援事業の一つとして、県内の短大、大学、大学院において、私費で学んでいる外国人留学生を対象とした奨学金制度を設けています。今年度、当該奨学金の申込みのあった外国人留学生80名については、6月19日に開催された認定式において、奨学生として認定されました。

認定式では、中島企画振興部長から「大分県でしっかりと学び、地域の人とも交流し、将来は大分県と母国との架け橋になって活躍してほしい」と挨拶があり、奨学生を代表して、別府溝部学園短期大学1年のドン シュエさんが謝辞を述べました。



また、現地に足を運び、大分県への理解をさらに深めてもらうため、「大分県スタディツアー」も年2回実施しています。7月13日にその第1回目を開催し、姫島村に行きました。

姫島村では、電気自動車の実証実験の現場やジオサイトを見たり、IT企業・人材を県外から呼び込み、新たな雇用の場と活力の創造を目指す「姫島ITアイランド構想」の話の聞いたりしました。

昼食には名物の車えびのフライも堪能しました。当日はあいにくの雨でしたが、姫島村の魅力や取り組みを知る良い機会となりました！



大分県外国人総合相談センターを開設しました

県では6月27日に、外国人や外国人に関わる人からの相談を受ける「大分県外国人総合相談センター」を大分市に開設しました。

近年の中小企業の人手不足等を背景に、新たな在留資格「特定技能」が創設され、外国人との共生社会の実現は大きな課題になっています。県内でも、外国人労働者数は6千人を超え、この5年間で約2倍に増加しました。今後も外国人労働者の増加が想定されることから、外国人も安心して暮らせる地域社会の実現が大きな課題となっています。



センターでは、在住外国人が抱える疑問や不安について、窓口、電話、メールで相談ができ、多言語コールセンターなどを活用し、17言語に対応しています。

またセンターでは市町村窓口で対応にあたる職員向けに研修を行うこととしており、開所式の後、さっそく専門家による相談対応研修会を開催しました。



このセンターを活用して、県民と在住外国人が、共に安心・安全に暮らせる社会を実現していきます。

タイフェスティバルin大分2019が開催されました

7月6日(土)～7日(日)に大分市のガレリア竹町ドーム広場で「タイフェスティバルin大分2019」が開催されました。このイベントは県内初開催であり、大分市のNPO法人Sa-Na・エンタープライズが、タイと大分の親交を目的に、開催しました。



6日の記念式典には大分市の佐藤市長や在福岡タイ王国総領事館のアツカーン・ウォンチャナマース総領事が参加し、開会のテープカットが行われました。ステージでは立命館アジア太平洋大学(APU)の学生によるタイのダンス、ファッションショー、ライブなどが行われ、会場ではタイ語教室や古式マッサージ体験、タイ料理の販売などもありました。

7日の夕方には、福岡・バンコク間のペア往復航空券などが当たる大じゃんけん大会が行われ、会場は大変盛り上がりました。



李 婷(り てい) 研修員レポート

7月13日に、留学生や国際交流員など29人で姫島村のスタディツアーに参加しました。

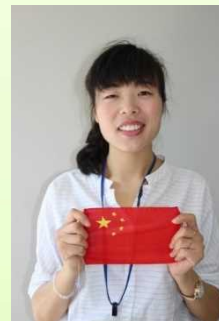
姫島村では高齢化で、人口がだんだん減り、今は2000人弱となっています。原因は主な産業が低迷し、若い世代を中心に島を出て、進学や就職をするからです。そういう現状にあって、姫島村はどうしたらいいのでしょうか？

姫島村は自然に恵まれ、温暖な気候やジオパーク、豊かな食材があります。特に、車えびは姫島村の誇りです。日本料理屋「もりえい」の車えびのフライはとても美味しかったです。また、歩いて通勤でき、交通事故が無いことも姫島村の魅力です。姫島村に信号機はひとつしかないそうです。

また、企業誘致も重要です。人を引き留めるには、仕事が一番重要です。姫島村は島の特徴に合わせてIT企業の誘致を進めています。土地の制限で大きな工場が建てられませんが、IT分野ではリモートワークも可能です。

現在誘致されている企業は人材をいかに引き付け、引き留めるかを考えています。同じIT企業で姫島村と東京の給料とが同じなら、人は姫島村を選ぶと思います。

スタディツアー当日はあいにくの雨が降っていましたが、参加したメンバーは姫島村の魅力を味わうことができ、とても楽しかったです。私は姫島村から課題解決の方法について、習うべきところがありました。世界的に人口減少に直面している地域は多いと思います。姫島村の様に自分の資源を生かし、ふさわしい企業を誘致して人材を引き留められれば、解決の糸口は見つかるかもしれません。



海外大分県人会交流掲示板



アメリカ・ロサンゼルス県人会のGene Y. Kaida様よりご報告をいただきましたのでお知らせします！

創立122周年を迎える杵築高等学校が、創立以来初めて、4名の生徒(岩下凜さん、白井結衣さん、松原由依さん、橋本和秀さん)を選抜し辛島英介教諭と共にLos Angelesに、海外研修として派遣しました。4名は、UCI(University of California, Irvine)にて午前中に語学研修の後、1週間かけて、日本国総領事館、ビバリーヒルズ市庁舎と消防署、ロングビーチ港湾局、Maxway Freight Systems、ラーメンのサンヨー食品、お茶の前田園などを回り、最後に南カルフォルニア大分県人会との懇談会を終えて、待ちに待ったDisneylandを楽しみ帰途につきました！現地でのサポートは、県人会会長で杵築高校OBの會田裕二氏がアレンジ&同行しました。



在ロサンゼルス日本国領事館
松尾首席領事と



Beverly Hills市長 John Mirisch氏と
前市長Barry Brucker氏と



南加大分県人会のメンバーと

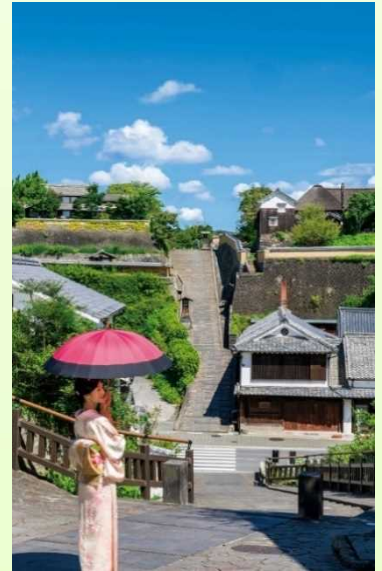
市町村からのお知らせ【杵築市】

【城下町杵築】日本唯一の「サンドイッチ型城下町」

江戸時代の風情がそのまま残る城下町杵築。

海を見渡す断崖絶壁の台地にそびえる杵築城を中心に、南北の高台に建ち並ぶ勇壮な武家屋敷群が、その谷間にある商家群を挟んだ「サンドイッチ型城下町」の形状は、日本で一つとされています。2017年には、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定され、時代劇のロケが行われる絶景の町並みは、一見の価値があります。

また、九州の小京都とよばれる杵築は、和服姿がよく似合う町です。気軽にレンタルきものに着替えて町歩きが楽しめることから、全国初の「きものが似合う歴史的町並み」に認定され、国内外からの多くのお客様に人気を博しています。



【杵築ブランド認定品に舌鼓】～首都圏バイヤー厳選品～

杵築ブランド認定品は、杵築の海山里の恵みから生まれた数多くある特産品の中でも、地元関係者ではなく、全国から優れた商品を買付けする首都圏のバイヤーや商品仕入担当者のプロの目と経験による厳しい審査を経て選ばれた極上の逸品です。

日本ギフト大賞を受賞した「温泉うなぎ」やフランス・パリで開催された日本酒コンクールKuraMaster2018で最優秀となるプレジデント賞を受賞した「ちえびじん純米酒」など杵築の特別な味覚をぜひご堪能ください。

大分県杵築市 ブランドサイト

(<https://www.city.kitsuki.lg.jp/brand/index.html>)



【杵築市 政策推進課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（7月）

News

【7月19日(金)】 別府市のインターコンチネンタル 内覧会

8月1日に別府市明礬地区にオープンする「ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ」の内覧会が行われました。建物は地上4階建てで別府湾を一望でき、客室は89室です。「伝統的な別府の温泉文化と、インターナショナルなリゾートホテルの融合」を目指し、別府竹細工をはじめ地元の工芸品やアートを施設の随所に取り入れています。またレストランやバーでは、県産の牛肉や魚介類、野菜、焼酎などを使ったメニューを提供しています。

News

【7月25日(木)】 外国人の119番に多言語対応

県内の消防局・本部で、外国人観光客からの119番通報に対応する体制整備が進んでいます。既に大分、別府、佐伯、臼杵、豊後大野、国東、日田玖珠の7市・地域が、通訳を交えた3者で同時通話ができる仕組みを整えています。大半は今秋のラグビーワールドカップなどに備えて導入しており、各消防は「迅速で円滑な対応ができるようにしたい」と気を引き締めています。

News

【7月28日(日)】 夏の甲子園 大分県代表に藤陰高校

第101回目となる全国高校野球選手権大分大会は、28日に大分市で決勝戦が行われました。決勝戦では、藤陰高校(日田市)が5-1で大分商業高校(大分市)を破り、2年連続3回目の県代表に輝きました。8月6日に開幕する甲子園での全国大会でも活躍を期待したいです。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



県内の農泊モニターツアーに申し込み、農泊先を探しているとある台所の写真に惹きつけられ、早速予約して泊まりに行きました。杵築市山香町にある「糧の家」は築80年以上の古民家をご夫婦二人で改修して運営している民泊で、モダンで木のぬくもりが感じられるとても素敵な家でした。

目当てだった台所はやさしい雰囲気があるふれる空間で、自炊が面倒くさい私でも毎日料理したくなる程おしゃれでした。オブジェや雑貨など家のいたるところにお二人のセンスが光っていて、特に重みのある黒い食器は高級感があり料理もよりおいしく見えて、私もぜひ黒いお皿を揃えてみたいと思いました。他にも「糧の家」の素敵な写真をたくさん撮ってきましたが、それは後ほど発行される「What's Up, OITA! 韓国語版2019年8月号」にてご確認ください！



金 眞雅
(Kim Jina)





セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

7月5日に仕事に行く途中で、長浜神社の周辺に露店が立ち並んでいることに気がつきました。私は昨年この時期に帰国していたため、初めて長浜神社夏祭りについて知りました。

3日間にわたって行われた地元のイベントでしたが、別の用事が入っていたため、中日の夕方にはしか行けませんでした。しかし、その短い期間だけでも、久しぶりに日本独特の祭りの雰囲気を楽しむことができました。懐かしい神楽のパフォーマンスや露店の食べ物(特に梅しその串カツと友達買ったブルーハワイ味のかき氷)を楽しみながら、普段は祭りで見えないライブバンドを聞いたり、望遠鏡を持っていた方にオリオン座を見せて頂いたりしました。



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)

先月、友達と一緒に宇佐市安心院町にある東椎屋の滝に行ってきました。その前に別府市の十文字原展望台にも寄りましたが、別府湾の景色に夢中になっていたら、腕がいきなりに注射針に刺されたような鋭い痛みを感じ、ギャグマンガのキャラみたいに「あ！！！」と叫んでしまい、友達もびっくりしました。車に乗った後、肌は赤くなったり黄色くなったりして、大分の自然の豊かさに感心する余裕もなく、気づけばもう東椎谷の滝の入り口に着きました。

その時期は雨が多くて地面は滑りやすく、滝に至るまでの道を歩くのは大変だったのですが、顔が滝の飛沫にあたった瞬間に虫さされも泥まみれの道も記憶から吹っ飛ばされて、しばらく断崖を落下する水から目をそらすことができませんでした。まもなく猛暑の季節になるので、緑に囲まれ清涼感のある東椎谷の滝はなかなかの避暑地ではないでしょうか。



ピョウ センテイ
(Miao Zhanting)

7月11日に重慶市育才中学校と国東中学校との交流会に参加しました。参加者は中国側が生徒29名、教職員5名で、国東中学校が生徒68名と教職員6名でした。交流会は午後に熱烈な拍手で始まりました。歓迎会の司会は学生が担当し、学校と世界農業遺産についての紹介も4名の生徒が行いました。

重慶の生徒たちは「光を追う者」や校歌を歌ったり、ピアノで「菊次郎の夏」を演奏したりしました。また、音楽交流もあり、箏と笛で「さくら」の曲を練習して一緒に演奏しました。生徒たちは楽しそうに交流し、別れる際には名残を惜しげに手を振って「再見」といいました。

いろいろな形の交流を通じて、お互いに異文化理解を深め、いい思い出になったようでした。



県内の最新の観光情報はこちらから
ご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い！



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:藤原【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp